



NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人 長崎青年協会

社団法人
長崎青年協会憲章

我々は會員の団結と

相互扶助の精神の基に

自己の建設と

會員の親睦を図り

もって地域社会の発展に

寄与する事を目的とする

スローガン 『スクラム!』



平成13年度 卒業生一同

今月の行事予定

5日(金) 理事会 22日(月) 定時総会 (ホテルニュー長崎)
15日(月) 理事会

今月度事務局清掃担当委員会

広報委員会

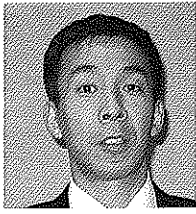
今月の二次懇親会担当委員会

広報委員会



～出欠の返事は確実にしよう～

新年度 役員・理事者の抱負



平成14年度 会長 田川 清浩

34年目を迎える歴史と伝統ある 社団法人 長崎青年協会の会長をさせて頂き光栄に思っております。本年度はスローガンを『スクラム!』といたします。家庭において、職場において、そして青年協会活動において、一人一人の想う気持ちと、行動がひとつになった時それは想像以上の力となります。そして我々はその事から大きな感動と、多くの喜びを味わい又多くの事を学びとることが出来ます。我々青年協会は長崎のオリジナルの団体として憲章に掲げることを目的とし様々な活動を行ってまいりました。

4月からまた新たなスタートを切るにあたり、これまでのノウハウを十分理解しつつ、一つ一つの事業に対して検討し、想いを込め、会員がしっかりスクラムを組み、皆で盛り上げ、そして喜びを分かち合いその結果として我々会員がしっかり成長させてもらうことを会員の皆さんの念頭において頂きたいと思っております。これから一年間、会員の皆様と共に作りあげて行きたいとおもいますので、どうぞよろしくお願い致します。



副会長 寺本 正弘

平成14年度副会長を仰せつかりました。その任でないことは十分自覚しておりますが、先輩諸氏会員各位のご指導ご協力のもとにこの重責を果たしてまいりたいと存じますので、よろしくお願い致します。ただ残念ながら現在の経済事情か、または現役会員の『気持ち』の持ち方が会員数の減少という苦境に経たされています。今こそ広い視野で現実に対応していくことで現状を打破して行けると信じて疑わない! 即ち、理屈をいっても始まらないまず行動に移してみる。出来ない理由をさがすのではなく出来る理由をさがしてやってみる。



副会長 吉田 浩文

今年度、田川清浩会長のもと、副会長という任を仰せつかり大変光栄に思っております。ここ数年、会員数の減少という厳しい現実がありますが、自分たちのやりたいことを青年協会らしく実行できるよう考え、努力していく所存ですので、よろしくお願い致します。



直前会長 野島 徹也

協会をつなぐ物、それは、互いの心意気!!

そして今年も、楽しく、無理せず、怠けず。



事務局長 峰 章二

今年度事務局をさせて頂き光栄に思っております。私も10年目を迎え、諸先輩より受け継いだ様々な事を踏まえ、また、会員皆様の考え等を吸収し、考慮しながら円滑な理事会進行、事務局管理等を頑張りたいと思います。昨今の社会情勢や景気の低迷の中、会の運営その他影響を少なからず受けておりますが、今こそ青年協会の力を発揮すべきだと感じております。皆様のご指導、ご協力を期待し、お願い申し上げます。



総務室長 伊豫屋貴俊

今年度は時代に引き継ぐ総務室として「参加して楽しい」例会を運営し、「楽しく考えさせる」広報誌を発行致します。それぞれの委員会がしっかりした考えを持って活動していますので、私は委員長の「影となり日向となって」必要に応じてフォロー致します。ともかく総務室の活動を通じて、協会全体が楽しくなれば良いと思っております。



会員室長 池田 佳央

今年度、初めて役員をさせて頂く事になりました。青年協会も人材不足でどうとう私を起用するまで追い込まれたのでしょうか?と、いう訳でより良い人材の入会者をご紹介下さい。以上、新人募集の事でした。

さて、抱負とやらですが具体的内容はまだ、有りませんが気持ちは有ります。私は役員前に出来なかった事を再度検討し提案等が出来たらと思います。近年の協会は予算も含めて?色々な事をガチガチのギチギチ(ご想像にお任せします)ぼっく感じる事が有りました。そう思うと「あ~昔は良かったな~」としみじみ想い、そして歳を感じ入ります。しかし、昔に戻そうとかでは無く、「21世紀からの協会」としての「変貌を望む者」として微弱ながら力を尽くして活きたいです。「ちょっと永いだけの在籍年数?」と「たいした事の無い実績?」で、これからの青年協会や会員の為、また自身の為にも色々な事をこの1年間で学びながら出来る事を考え、遂行できたらと思う次第で有ります!



企画調整室長 前田 哲也

あと2年間という協会活動のなかで初めておくち担当の室長を引き受けることになりました。

地域社会委員会の室長という役割もありますが、その分は委員長はじめ「やる気」満々の委員会なので心配はしてません。しかし、「おくち」は正直苦手です(そうだろうと皆納得する姿が浮かびます)が、頑張ります!折角の機会なので、最近感じていることを。青年の集まりといいながら私たちもいい年で、会員のなかには会社や地域、他の団体等において責任をもつ地位や役職についている人もいでしょう。そういうつきあいを振り返った時、概して地位役職がついてからのつきあいはその役職に対するつきあいになりがちです。職種や立場を超えた出会い、つきあいが「生涯の友」を得る、そんなことを実感できるような活動としたいです。



監事 松島 健二

今年度監事を拝命するにあたり、監事という漢字が書けなかった(情けない)私です。そんな未熟者ではありますが『不偏不党』の精神で『不撓不屈』で頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



監事 井手 清治

私の入会時、既に入会されていた年下の先輩達がまだまだ現役で頑張っておられる最中、私は最後の一年を迎える事になりました。その最後の一年を監事として送るわけですが、組織図を見てもわかるように、皆さんより少し離れた位置で協会全体を見渡し、冷静なる思考力を持って理事会に臨みたいと思います。

泣いても笑っても私にとっては最後の一年。会員の一人として宜しくお願い致します。



総務例会委員長 山崎 伸一

本年度、総務例会委員長をやらせていただくにあたり、非常にハードな役目であるのではじめは悩みましたが、心を引き締めて一年間務めていきたいと思っております。

一年間やっていくにはまず委員会のメンバーの協力が必要になりますが、それとともに現会員全員の協力も欠かせません。つきましては、まず皆様をお願いします。5分・10分とは言いません。30分程度でも例会に出席出来る方は必ず出席していただくようお願いいたします。



広報委員長 仁藤 和彦

入会以来、初めて委員長を経験させて戴くことになりました。近年、会員数の減少によりなかなか思うような活動ができず、いろんな意味で協会が苦勞していますが、活動の意義を今こそ原点に戻って考えることのできる広報誌にしたいと思っております。



研修開発委員長 宮崎 健太

研修開発委員会としては、ここ数年の会員の減少を深刻にとらえ、現会員はもちろん多方面に顔が利くOB方への強い呼びかけにより紹介頂き会員の増加を図りたい。

全体研修・会員研修においては、会員・講師共に考え・学び・モラルの向上、協会員としての向上を図る。

最後に研修委員会のメンバーが仲良く・楽しくをモットーにやっていければと思っています。



交流委員長 泉 栄吉

青年協会に入会して4年目を迎えようとしています。この程度の経験で委員長という大役をまかされるなんて、本当にいいのかどうかは分かりませんが、これまでの経験を生かし、いろんな意見を聞いて、自分の色が出せるようがんばっていききたいと思っています。



地域社会委員長 麓 浩二

「自己の建設・地域社会への貢献」を目的とし、3つのテーマの基活動していきます。1. ゴミ拾い(清掃事業)を一年を通してやっていくことで、環境に対する意識向上・ゴミを捨てない最低限のモラルを身につける。そして、かつ地域住民にまで広める努力をする。2. 自然を通して学校ではできない青少年への育成事業を行う。3. 福祉施設で餅つきを行い慰問する。

ひとりの力は微力だが、青年協会をもって行えば民意を動かすこともできる!!



35周年担当理事 三瀬 健司

今年度35周年担当という名誉ある理事をさせていただき光栄に思います。次年度35周年に向け1年かけて、坂上副理事・寺本・吉田両副会長と共に何をするかを考え、協会員の皆様の協力を得ながら記念式典等の段取りを今年度中に仕上げたいこうと思っております。微力ではございますが、立派な35周年になる様に頑張っていこうと思っておりますのでよろしくお願い致します。



35周年担当副理事 坂上 隆弘

私は35周年担当として副理事になり、理事の三瀬健司君をバックアップし、今年一年理事として協会全体を勉強し次年度に生かしたいとおもいます。

～平成13年度卒業者を送る夕べ～ 野島会長挨拶



野島会長挨拶

皆様こんばんは。3月に入りまして、日増しに暖かさもまし、半ばを過ぎますと20度を超える春の陽気に桜の花も咲き始め、昨日は春風によって中国からの来訪者の黄砂が街中を包み込み、まさに春そんな中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

はやいもので平成13年度も最後の事業となりました。今年度はここ数年、協会内で語られ、積み重ねられてきた事を、21世紀の青年協会を模索すべく、会員一丸となり、幾つかの新たな試みにチャレンジする事ができました。そして今後も、それを踏まえ、大きく変わり行く時代を見据えて、変わり行くべきは加速度的に進みながらも33年間受け継いだ心意気は忘るる事無く精一杯の活動をしていただきたいと思います。

そして本日は、(社)長崎青年協会平成13年度“卒業者を送る夕べ”におきまして牛虎会の皆様を送り出すべく卒業者を送る夕べを開催いたします。

本日ご卒業される卒業生の皆様、本当におめでとうございます。またご列席のOBの皆様、そして奥様方、本日はご多忙中のところ、多数ご出席戴き、心から御礼を申し上げます。

本口、晴れの卒業式を迎えた皆様は、長崎青年協会の活動において、地域社会の発展に寄与するだけでなく、人格の向上など自己研鑽にもつとめて来ました。私は皆さんの、これらの努力、情熱、実行力に対して心から敬意を表せずにはいられません。

そして、もう既にご卒業された先輩方がそうであるように、青年協会を卒業しても、皆さんは、まだまだ青春の真っ只中にいます。青年協会で学んだように、不屈のチャレンジ精神を持ち、何事にも全力でぶつかり、悔いのない、素晴らしい人生を、そして青春をこれからも謳歌してください。

また、愛すべき青年協会のため、現役会員のために、今後も叱咤激励しながらも見守っていただけたらと思います。

最後になりますが、私、非才の身ながら、会長という大役をうけ、なんとかまっとうできましたのは会員の皆様の支えと、OBの方の励まし、そんな皆様のお力添えの賜物と感謝しております。改めてお礼を申し上げます。皆様、本日はどうもありがとうございました。

卒業者を送る夕べ・2次懇親会

平成14年3月22日(金) / ホテルニュー長崎・ナイトイン ロッキー

平成13年度、卒業者を送る夕べが多くOBの出席のもと開催された。まずはミニ例会が行われ、今年度最後の会長挨拶・役員報告・委員会報告が行われミニ例会が終了した。会場の設営後、卒業者を送る夕べが始まった。今年度9名の卒業生の方が入場後、プレザー・卒業証書授与式が行われた。その後、三浦勝太OB会会長の挨拶・浅田五郎OBの乾杯と続き懇親会へ。



三浦OB会会長挨拶

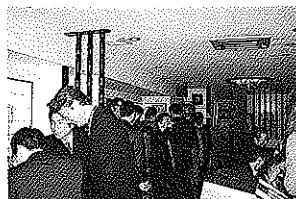


浅田OB乾杯音頭

懇親会中、毎年恒例の中尾OBによるOB会入会式の予行練習など行われ、賑やかな懇親会であった。その後卒業生の奥様より旦那様に花束贈呈が行われ、卒業生の方々が協会に対する想いを熱く語られた。最後に次年度会長の田川清浩君の音頭のもと万歳三唱で締めくくられた。



送る夕べの様



2次懇親会の様

2次懇親会は、ナイトイン ロッキーで行われ、卒業生を囲みながら夜更けまで飲み明かし、楽しい宴は終了した。

卒業者にQ&A

- ①入会して自分にプラスになったこと ②あなたにとっての青年協会とは？
 ③協会活動で一番印象に残っている事業は？ ④後輩に伝えたい事
 ⑤もし協会に残れるのであれば後何年残りたいですか？
 ⑥よろこびで幾ら位投資しましたか？ ⑦最後に一言

沖迫 司君

- ①会員・OB共に多くの人と出会えたこと。そして、それぞれの方の仕事観、人生観が聞けたこと。
 ②良い点、悪い点を含めて、いろいろな経験ができたこと。
 ③青少年育成事業で、子供達をまとめる難しさ、そして、事業後の子供達との文通をおして、喜んでもらえる事業であり、必要とされる事業かな、とおもった。
 ④苦しみがあって、はじめて喜びがわかるもので、仕事・家庭と大変ですが、きつさ・つらさを是非、負担と思わないで頑張してほしい。そのあとにきっと何物にも変えがたいものがあると思う。
 ⑤OBとして、後何年でも携わっていきます。
 ⑥品行方正でしたので、少なかった(2・3000円)とおもう。
 ⑦“心意気”

増崎 進一 君(写真は麻弓美夫人と)

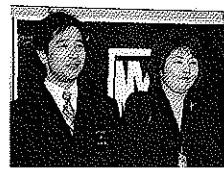
- ①多くの友人が出来たこと。
 ②出稼ぎ者の実家のようなもの。
 ③私にとっては、ネットワーク市民の会に関わったこと。
 ④40歳になると、肉体的、精神的に疲れが出ます。そうなる前に出来ることはいろいろと挑戦しましょう！
 ⑤体力の限界。OB会でいいです。
 ⑥会長になってないので(笑)1~2万かな。
 ⑦一昔前に比べると、会員数が減り確かに寂しい「送る夕べ」ではありました。しかし、青年協会の会員の気持ちは今も昔も変わりません。私の子供が成人しても入会したくなる魅力ある会であって欲しいと思います。お世話になりました！

馬見塚 純治 君

- ①たくさんの人と出会うことができました。協会員はもちろん協会活動を通して知り合うことができたいろんな分野の人々との出会いも思いがけないプラスのひとつです。
 ②オリンピック？万国博覧会？うまく表現できないけどいろんな人がいろんなことをごちゃごちゃやって、すごいところ。
 ③“LOOK NAGASAKI”以下シリーズものの「留学生と市民のつどい」。「出島だ！荷揚げだ！日蘭だーっ！」。佳央の「家族懇親in高島」(交番のおまわりさんにあやしい団体とまちがわれ、高島町長まで出てきてはらはらした。原因は私の度をこした遊び心でした。)3つも書いてすみません。
 ④最後まで完走してください。じわりとよかったーという気持ちが湧いてくると思います。
 ⑤いまは、考えられません。42.195kmゴールに倒れこんだランナーにあと何キロ走るやーって聞くようなものです。今は、完走してよかったー。
 ⑥3,000円くらいでしょうか。しゃれにならないよろこびが多すぎて…。
 ⑦んー。次は厄入り懇親会で飲みましょう。

渋谷 晃 君(写真は史子夫人と)

- ①お酒の楽しみ方(まだ学習中)、人生の楽しみ方、人の動かし方、一生つきあえる人脈、などなど数え切れません。
 ②ちょっと遅い「青年」時代の有意義な時間。
 ③事業というよりは、事務局長を引き受けた年度です。11月の臨時総会で本来次年度事務局長は決定するのですが、2月にわざわざ総会を開催していただき、引き受けるはめ(?)となったのです。この事と、事務局長交代、会社の存亡の危機、日蘭事業など、とにかく私にとってはとんでもない一年でした。(夏には入院してしまったし……)
 ④「馬鹿になれれば馬鹿でなし、馬鹿になれない馬鹿もいる」「忙しい人に仕事を振れ」「一盗、二卑、三妾、四儀、五妻」
 ⑤この質問は、協会の定年を引き上げる提案に思えるのでノーコメント。
 ⑥真面目な私は、意外と少なく、3千円ぐらいかな。
 ⑦青年協会というところは、会員自身が、何らかの目的を抱き、積極的に参加することに意味のある団体だと思います。それぞれが、有意義な活動力のある年代を、悔いのないよう過ぎて頂きたいと思います。



原 喜一郎 君 (写真は貴美代夫人と)

- ①自分という人間を知れたこと。事業の限界への挑戦が出来るという自信。仲間作りができた事。
- ②自分を切磋琢磨することで進歩する。仲間との調和を楽しむ場所。
- ③委員長を数多くすると、全ての事業が走馬灯のように思い出として、新しく記憶にあるが、その中でといわれると、やはり、最後に経験した。おくんち事業だな。(おくんち広場)
- ④適材適所ではなく、不適材不適所を取り組め。出来ないとは思わず、出来ると思ひ取り組む姿勢が大切。人間切迫感があれば、出来ない物は無い。
- ⑤入会した年齢が何歳の頃にということを考えるが、私の場合30歳で入会したので、15年間位かな。
- ⑥知っていますか？私が、松島OBの頃「取りすぎたけんネクタイはプレゼントするけん。」という秘話を・・会長にはなれなかったけど(1万は、1度にはないが、)500円×60回位(この事は、広報誌にはどうかと思うけど)
- ⑦つきなみだが、青年よ大志をいだけ！！いい意味で遊びなさい。色んな角度から楽しむ事も人生必要。尻拭いは自分でせよ。最後に、ありがとう。



片江 豊 君

- ①一生涯の友ができた ②仲間に出会える時間 ③青少年育成のキャンプ
- ④のびのびと活動してほしい ⑤OB会に入会するので、卒業した実感がない
- ⑥2000円ぐらい ⑦厄入りでお世話になります

地島 秀 君 (写真は由美子夫人と)

- ①仕事又個人レベルでは、経験の出来ない事を体験し、学ぶ事ができ、少しは地元長崎を知る事ができ、そして何よりも同級生はもちろんの事、先輩・後輩と出会えた事は大変私には財産になりました。
- ②仕事などストレスの溜まりがちな時はリフレッシュの場、そしてやはり自己建設と相互扶助の精神を養う場
- ③くんち広場等数多くありますが、将来長崎を担う子供達を対象に実施した青少年育成事業で2000年長崎阿蘭陀年での、姉妹都市ミデルブルフ市へ中高生との交流・表敬訪問。そして炎天下のもと大変皆様にお世話になりました小学生参加100名の帆船『飛帆』での伊王島経由、サンセットマリーナでの『サマーキャンプ'97』です。
- ④多くの会員と出会い、親しく仲間を作り青年協会の会員だと誇りを持ち、楽しく協会活動に励んでください。
- ⑤40歳が目標でしたので難しい。OB会には入会します。
- ⑥片手 いや 一本。記憶にありません。
- ⑦在籍中は大変お世話になりありがとうございました。節目で卒業しますが改めて今後とも先輩・同級生・後輩の皆様よろしくお願ひいたします。



山室 敏紀 君

- ①多くの面でプラスになりました。もし私が青年協会に入会していなければ、非社会的な、島国根性を持った自己中心的で内弁慶で下戸であったでしょう。協会活動に参加する事により会社経営者の思想、ライフワークさえも変わる事になりました。協会入会から卒業まで、そしてこれからも大きなプラスに成るでしょう。
- ②気分転換。ストレス発散。
- ③新入会員の時、新入事業を18銀行記念体育館でバスケットボールを企画、実行したのですが、同じ新人で井手君が居て、お地藏さんより動かなく会話もなかったことや、くんち委員長の時のくんち事業でたくさんの会員が事業に参加し、くんち広場にたくさんのお客さんがきてくれたことや、地域社会委員長の時の餅つき事業でマリア園の子供たちとふれあえた事や、事業の時の賄いがなぜかいつも豚汁だったり留学生と市民の集いの時、酒井君から机を投げつけられたことなどすべてが印象に残っており協会活動に順番をつけることができません。
- ④広瀬君、三瀬君、副島君大きくなれば。井手君、あびる君、池田佳央君結婚せろよ。あびる君、仁藤君、松島君、酒井君……増やせよ。
- ⑤1時間36分18秒 ⑥住民税、消費税込みで325円。所得税別
- ⑦人に優しく。卒業にあたり心地よい疲労感を覚えています。これは協会活動が充実していたからではないでしょうか。



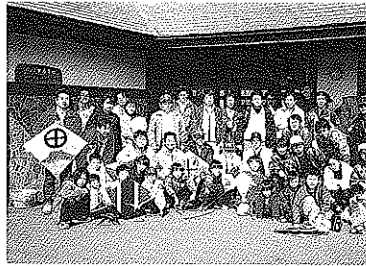
野島 徹也 君

- ①日常の生活では味わえぬ体験、出会い。 ②自己研鑽の場
- ③平成9年度の地域事業委員会での稲佐山的燈会(こんな字やったかな?)春の逆さ文字をやった時。
- ④こだわりと感情移入! やっつけ仕事では笑りは無い。
- ⑤後輩の事を思えば、存在不要かもしれませんが、個人的には永年居たい。
- ⑥3,000円程度でしょうか? いやいや会長になった時10,000円入れましたので、おおよそ13,000円。
- ⑦青年協会ありがとう。



● 新人研修事業 ● 「はたあげ」

♪なが～さ～き～めい～ぶ～つ
ハタ上げ盆まつり～♪ご存じ【長崎ぶらぶら節】の一節である。新人事業は、昨年度入会された会員により、去る3月10日市民の森にて行われた。時折、強風が吹くなか、前半は研修棟の中でハタ作りを教わった。親子参加の会員は、息子、娘に父親の後姿を見せるべく、威厳を保ちながら製作。無地の白ハタは上げてはならぬと言うことで、絵や文字を書き入れて後半のハタ上げに期待。担当委員会の準備した昼食をおいしく戴き、いざ勝負！子供達の小さいハタは元気よく上がるが、会員のハタは宙を回るだけ。人生の苦労か、ハタまた雑念か？もつれた‘よま’



指導者の方々と集合写真



これが現実か？



子供達の瞳が輝いていた「生きた学習」



新人諸君

をほどく姿ばかり。これが本当の親父の後姿か？最後に卒業された山室君のハタが唯一上がったが、素人カメラマンにて証拠写真は写っていないかった。これもまた協会人生なのか…。新人諸君に一言！子供達が上げたハタになりなさい。決して現役会員のハタにはならぬように！そう祈りたいのは私だけだろうか？

準備の段階から新人の皆様は非常に手がいる作業を分担してやって下さいました。今回は長崎の伝統文化を継承する意味でも「ハタあげ」を沢山の子どもたちに経験して頂いて非常よかったですと思います。

ただ、21世紀を担う子供たちのハタはどんどんあがったのですが、我々大人のハタは、なかなかあがりません、私もハタに「天馬」と書いていたのですが、ほとんど落馬状態でした。(笑)・・・今日をもって私は協会のジャンパーを脱ぐこととなりますが、新人の皆様が今日の経験を生かして益々青年協会を盛り立てて頂けるものと確信しまして、労いの言葉にしたいと思います。どうも皆様お疲れさまでした。

会員交流室長 馬見塚純治

今回新人事業で「ハタあげ」をやるにあたり、当初から試行錯誤の連続でしたが、何とか皆様のご協力のもと無事に終了することが出来ました。こういった形で経験を積むことにより、やっと青年協会の一員として慣れていくのではないかと思います。それで来期からも頑張っていきたいと思います。本日はありがとうございました。

新人リーダー 橋田徳之

3月10日新人事業として『はたあげ』が行われました。今年度の新人の人数は5人。橋田君をリーダーに皆忙しい中、よく集まって新人事業について会議を行いました。研修開発の人間がサポートとして横についているのですが私達の手助けはいらないとばかりに新人会員全員が意見を出し合い着々と3月10日の事業当日に向けて一丸となり動き、少数であったのがかえて良い方向に向かったみたいでそれぞれ責任を持って事業を成功させようとがんばり動いてくれました。

当日の参加者が多少少ないのが残念でしたが、これは、呼び掛けが足らなかったのではと反省すべきところだと思います。

反省すべき点はいろいろとあるのですが、今回の新人事業を通じて感じ取ったこと(良かった点・悪かった点)をこれからの協会活動に活かしていってもらえたらと思います。 研修開発委員会

新人事業担当 山田 寛海

13年度新人事業メンバー：橋田徳之、三谷勝大、池田秀樹、堀田健二、浅野光広

今月の誕生者

- ☆池田 佳央君 昭和41年4月11日生 (平成4年11月入会・在籍10年) 36歳
- ☆松島 健二君 昭和38年4月18日生 (平成7年4月入会・在籍7年) 39歳
- ☆山崎 伸一君 昭和40年4月24日生 (平成7年4月入会・在籍7年) 37歳
- ☆三谷 勝大君 昭和47年4月30日生 (平成13年9月入会・在籍2年) 30歳

同好会報告

◆ゴルフ同好会

3月24日(日)長崎空港カントリー倶楽部において、野島会長杯・地島直前会長杯獲りきりゴルフコンペを行いました。当日は快晴にもかかわらず、風が強くて肌寒い天気でした。OB9名・現役6名の参加のもと、優勝は川添吾郎先輩、準優勝は河野文彦先輩でした。また、直前会長杯は見事、川添吾郎先輩でした。参加頂いた方々ありがとうございました。また今年度は幹事の不徳の致すところで1回の開催で申し訳ございませんでした。



新人紹介

武田 誠君

昭和47年2月12日生 30歳 西彼杵郡長与町に奥様と仲良く生活中
 第一推薦者 松原君の弁：新人のまこっちゃんは、人に優しく、とってもいい奴です。ながーく、愛して、ずっと愛して!!お願いします。



Q & A

- ①入会の動機 ②入会の抱負 ③上戸・下戸? ④セールスポイント? ⑤好きなスポーツ?
- ①仲間作り ②仲間をたくさん作りたい ③下戸です ④体力があります ⑤スキー・スキューバダイビング・ラグビーをする

13年度例会皆勤賞表彰

- ☆酒井 真君 ☆池田 佳央君
- ☆馬渡 鉄洋君 ☆宮崎 健太君

特別表彰

☆地島 秀君 (入会以来7年1カ月間全ての例会に皆勤)



5月の行事予定

7日(火) 理事会

19日(日) ソフトボール大会(東望山公園)

15日(水) 理事会

21日(火) 定時例会(東映ホテル)

5月度事務局清掃担当委員会

交流委員会

二次懇親会担当委員会

交流委員会

編集後記

東京で史上最速の開花宣言が出されたこの日、長崎では九人の侍が旅立った。40才にして卒業式を迎えるというのは、このような団体に所属するから体験できるのであって、それだけでも、価値があると思う。しかし、それ以上の思い出、達成感が得られたであろう協会活動に感謝し、明日からの人生に生かして欲しいものである。40才からの顔は自分の責任と、言われるが、大切なのは、これから先の10年、20年、30年を協会での活動経験をどう生かして行くかではないだろうか。

発行 社団法人長崎青年協会 会長・田川清浩 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
 TEL 095-821-1625 FAX 095-823-7375

編集 広報委員会委員長・仁藤和彦 副委員長・三瀬健司 福田増幸 広瀬健司 岸本純孝
 福島広之 中尾仁 岩口信美 桂雄剛 片岡浩一 橋田徳之

印刷 昭英印刷有限会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231